

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol. 4

平成 20 年 3 月

小樽 2/16 (土) 2/17 (日) の二日間「後志魅力展」開催されました

小樽運河プラザ3番庫にて16日には20市町村、iネット&iセンター、STSのパネル紹介、18:30から開催のiネットシンポジウムに続く交流会では神恵内村のご協力により「あんこう鍋」「あんこうのともあえ」が参加者の皆様に提供され珍しい!美味しい!と大好評、おかわりの方も続出。



17日(日)は13:00~18:00まで「しりべし食づくり名人フェア」



エビ汁(STS) 甘酒(田中酒造)
無料提供協力により無料配布券付
きちらしが昼間集客に効果発揮!
エビ汁173、甘酒116杯



蘭越iセンターから助っ人頂き感謝!

グループ、自社、団体製品のPRの機会と参加頂いた出店数は10。樽から計り売りの「にしん漬け」「寒のり」「うにみそ」名人による様々な野菜の漬物やたこやきのような味のかまぼこ、じゃがいもをすりおろして作る「いもだんご汁」濃厚な味の「プリン」や「パン」に「カステラ」ホーレン草の姿イメージをくつがえす「寒熟ホーレン草」(まるでたんぼぼの葉っぱじゃないの~と思う姿ですが湯がいたら凄く甘くてびっくり!めぐり合いに大感動でした~)後志には海、山に優れた食材に恵まれ此処に生まれ生きていることに改めて喜びを感じ、新鮮、豊富な食、食材のPRや現場仕事に忙しい従事の方々のお手伝いをすることはいっぱいある。これこそSTSの使命だと思いました。魅力展、応援するよ!と神恵内村の皆様、iネット若者集団のアンダー40有志諸君、蘭越iセンターさん、ありがとう!

しりべしi ネットシンポジウム (2/16 (土) 16:00 ~ 18:30)

寒さを暖かさに変える、マイナスをプラスに変える

知恵を活かした観光地域づくり



元々、シンポジウムという語源はシンポジオンというそうでお酒を飲みながら、とにかく色々なことを、思ったことを話し合おうよというのがシンポジオンの語源だそうで、小樽にあるイタリア食堂・サントチェーロ・マスターがホットワイン=ヴァンショー（フランス語の Vin chaud = 熱いワイン）を来場者の皆さんへ会場にはワインのよい香りが漂いシンポジウムが始まりました。

どうもi ネットがらみのイベントは天気が悪い・・・鼎談出席予定の山形県後藤副知事搭乗機は羽田に引き返し参加不可能。千歳に着いた方々も上空待ち2時間。着陸地変更の機もありJRエアポート運休、高速通行止めとこれでもか、これでもかという仕打ちにも負けず「行けるところまでいく」「旭川となって到着遅れる」とシンポジウムへの参加を目指していると聞いて胸が熱くなりました。（シンポ担当者はパニック、アタフタ状態となりました）鼎談者到着の予定が大幅に遅れ急遽、第1部と2部を交換し、パネルディスカッション、次に鼎談とコーディネーターの機転で進行を変更しGO。

シンポジウムではいやだ、いやだと思っている雪にも住む国、地域が変われば印象も価値観も違うが、人の手を加えることによって美しいもの、感動するものへと形を変えることができ、携わる人々、みる人々との交流が生まれ、繋がることであるとまとめられました。鼎談では7/7から開催の洞爺湖サミットを軸に工業国、日本、だけのイメージを実は潜在的興味深い日本、地域の文化や歴史を知って頂く最高の機会であり、町の人も含めたホスピタリティの発揮こそが必要なことであり、たとえば、日本人が1番苦手としている「誉める」ことを職場で家庭で実践する努力こそ自然な笑顔やホスピタリティが生まれる元でもあると提言されました。シンポジウム第1部、第2部と録音し、テキスト化しましたので是非、皆様も一読され、意見やアドバイスが自分の町で活かせる施策を考えるきっかけとなるかと思います。ページ数は22枚となっておりますがダウンロード可能なファイル（PDF）は「しりべしi ネット」ホームページ <http://www.shiribeshi-i.net/>（下へスクロール（下がる））「i ネットニュース」コーナーにアップしております。今の日本の観光の舵取りを役割のシンポジウム講義録一読はお奨めです！これまでになく、シンポジウムの参加者は162名、交流会への参加者もこれまでになく142名でした。

STSニュースへのご意見、ご提案がありましたら imai@shiribeshi.com へお気軽にメール下さい。

【お知らせ】MLメンバーに蘭越iセンターが登録されました。

【編集後記】羽田に引き返しとなって参加不可能となった鼎談参加者からのメールは「パイロットのいくじなし！」だったそう。爽快怪傑女史に会いたかったな～（i）